

金沢であえて「工芸」を問う

開催にあたって

金沢をはじめとする石川県が全国屈指の工芸資産を有する地域であることは、広く知られている。ただ、それは自然になすがまま発展してきたものだろうか。

今回は、陶磁器を中心に日本近代の歩みに照らしつつ、数多くの先人たちのいとなみに学びながら、その意味と由来を尋ねるための歴史的検証を目指していきたい。このことは近年の国際動向に照らせば、遠い過去の回顧ではなく、きわめて今日的な課題だと思われる。

日時

2016年 8月6日(土) 13:00~17:00

13:00~13:25 趣旨説明 森 仁史 氏 (金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所)

パネルディスカッション

13:25~13:35 パネリスト紹介と導入 本康 宏史 氏 (金沢星稜大学教授)

13:35~14:20 講演「ジャパン九谷への道程
—江戸末期から明治期の地域様相—」
坂下 雅子 氏 (小松市ふるさと共創部はつらつ学習課参事)

14:25~15:10 講演「絢爛たる日本近代陶磁の造形
—『超絶技巧』と『グロテスク』の求めた世界—」
荒川 正明 氏 (学習院大学文学部教授)

15:15~16:00 講演「歴史都市京都のイメージと美術工芸」
高木 博志 氏 (京都大学人文科学研究所教授)

16:05~16:45 討論
森 仁史 氏、本康 宏史 氏
パネリスト全員

16:45~17:00 総括と展望 森 仁史 氏

会場 石川県立歴史博物館
ワークショップルーム
(第2棟2階)



定員 80名(先着順・申込要)

申込方法

電話、Eメールにて下記まで
お申込みください
(定員に達し次第締め切ります)

申込先

石川県立歴史博物館
〒920-0963 金沢市出羽町 3-1

電話:076-262-3238

Eメール:rekisi02@pref.ishikawa.jp

参加無料

夏季特別展
「セラミックス・ジャパン
陶磁器でたどる日本
のモダン」
関連事業